

疫痢の豫防について

警視廳防疫課長 井 口 乘 海

可愛い幼児にとつて恐るべき疫痢の流行季節を控へて、警視廳防疫課ではこれが徹底的豫防を期し、管内各區各郡部の學校職員を集めて講演會をしてゐる。これは六月二十日本郷區内に開かれたものゝ講演大要である。——文責在記者——

疫痢の流行

近年疫痢が非常に流行してまゐりまして、それが逐年増加して居ります。可愛い子供の命が非常に澤山奪はれてゐるのです。それで警視廳ではこの豫防宣傳について大わらばで、本日も此處に皆さんにそのお願ひに上つた次第です。流行状態をのべますと、

警視廳管内發生數

大正十三年	一五二七 ^人	大正十四年	一五九〇
大正十五年	一七九二	昭和二年	三二五七
昭和三年	四三八八	昭和四年	四五六六

斯様に毎年患者は増して居ります。本年は更に昨年に比べて五割の増加です。

本年一月より六月十九日まで 一七九二^人
 昨年同月同日間 一一八七

流行の月を見ますと六・七・八・九月で、全體の七〇パーセントを占めて居ります。殊に八九月に多いのです。

年齢からみますと、三歳から四歳の子供が八一パーセントです。一二歳の、お母さんの膝に暮し

てゐる間は安全地帯です。お母さんのお乳には病氣に對する抗毒素があります。又七歳以上になりますと、學校で規律的な生活が始まるから割合に尠くなります。學校教育のお蔭だと思つて居ります。ですからお母さんの膝を離れて、學校に上る迄の間のお子さん、可愛い盛りのお子さんにとつて非常に大きな脅威であります。この子供に死なれることは家庭にとつて實に悲惨事です。

死亡率

この疫痢は經過が大變に短かいのです。死亡者の四〇パーセントは二十四時間以内、次の二十四時間に又四〇パーセント、つまり八〇パーセントは發病後四十八時間で死んで居ります。勤人は敵ひませぬ。朝氣嫌よく見送つてくれた子が歸宅して見ればもう駄目になつてゐようといふのだから。死亡率は次表の様に段々少くはなりましたが

それでもまだ助かる方が少い状態です。

大正十四年 七八・一八 大正十五年 七四・八三

昭和二年 六七・八八 昭和三年 六三・六一

昭和四年 六三・四五

そして傳染病だから他の兄弟姉妹が感染して、可愛い子供をみんな奪はれ、ためにお母さんが發狂したといふのがあります。

原因・誘因

原因は大體に於て、赤痢菌です、大人の體に赤痢菌が入るとゆるやかな病状ですが、子供に入りますと、急激に現れます。體質を調べますと腺病質の子供、即ち風を引き易いたちの子供に多いのです。それで皮膚を強くする爲皮膚摩擦はよろしいのです。

動機は第一過食。少々消化の良い物でも過食はいけません。消化の不良のものは勿論いけない。

發病した者をしらべて見ると、バナナ、豆、枝豆、みつめめ、氷水、アイスクリーム、アイスクッキー等です。消化の良い物として質の方は誰でも氣を付けますが、質よりも量の問題に注意が肝要です。先日も疫痢で死んだ報告があつたので早速出かけると「たつた三本のバナナでこんな悲しい事になつて」と泣き亂してゐるお母さんがありました。子供にとつてはたつた三本ぢやありません。

買食。しらべてみると罹病者の六〇パーセントは毎日三十錢宛、三十パーセントは十錢宛の買食をしてゐるが、子供のあの汚い手、あれはドブさらへをした手ですよ。――投げたボールがドブに落つこちる、拾ひあげられたボールで遊んだ手が「ヲパサン丁戴な」と食物をつかむんだから。店屋の方では相手が子供だと思つてきつと質の悪くなつたものをさばくものです。そして子供の選擇に任しとくのですから實に混食、雜食極るものです。

今子供に歸つて來られては内職の邪魔になるからといふので、お母さんは「さあこれでもう一度遊んでおいで」と買食の金を投げ出してやるといふ家庭状態が多いのですから托兒所が必要であります。

子供の買食が絶對になくなれば疫痢は半減すると斷言します。これ丈はこの問題だけは是非みなさんのお力で解決したいと思ひます。先生方のお言葉が何より有効です。兄弟が買食しなくなると自然とその下の弟妹のもすくなくなつてまゐりますから。今日はこのお願ひにまゐつたのです。

それから寢冷がいけません。

病 状

頭痛・嘔吐・腹痛・下痢をおこすこの病状だと誰も氣づくから心配ないのですが、元氣だつた子が急にあちらへゴロ／＼こちらへゴロ／＼そしてウ

ト〜と精神朦朧とした様子の方は注意を要します。

熱の急昇。最初は三八——三八・五だつたのが三時間後には四十度に急昇します。

便。始めは軟便、そのうち永様便から粘液便となります。間もなくひきつけを起します。

豫防法

親が毎日子供の便に注意すること、便通の有無と便の種類を。それには智識を持つてゐなくちゃいけません。綠色便は絶對安靜を要します。

間食は親が與へる。直前に検査したものを與へる。ゆふべ買つて來たバナナをあと一「ぢやいけな。栄養品は腐敗菌のためにも亦栄養品であることを忘れてはなりません。

寝冷えさせぬこと。腹だけおぼふのでは駄目、小幼児と雖も太股出すべからずです。そして夜中ゴロ

〜回轉運動しても大丈夫解けないような腹巻やねまきにするのが一等安全です。蒲團をすぐ蹴飛ばします。足首が暑いのですから蒲團を横に着せると大變工合がよろしい。足先は暑くないし、横に轉つても容易にフトンからはぐれませんか。食事前、間食前に手を洗はせる事大抵の人の手から大腸菌が検出されます。手は不潔なものです。きつく手洗の習慣をつけることです。

氷水や蜜柑水を飲ませぬこと。

病氣の手當

若し不幸にして病氣に罹つたら、醫者を迎へる方は他の人に頼んで醫者の來られる迄にも母さんは落ちついて次の處置をしなければなりません。

絶對安靜にして、頭、左胸を冷す。氷や氷嚢が間に合はなければ井戸水だつて水道水だつて結構、それに鹽を加へて、タオルに浸してとに角、早く手當することです。次に下劑ヒマシ油をのま

愛兒を有たる、親達への注意

(警視廳衛生部防疫課編著)

本年は赤痢(疫痢)が非常に流行しますから特に御注意を願ひます。

◎最も危険な年齢と月

一、患者の四割は、三歳から六歳までの幼児。

二、六月から九月まで、殊に七、八の兩月に多い。

◎此病の恐ろしいこと

一、死亡者の八割は發病してから一晝夜たぬ中に、死んでしまふのである。

二、患者三人の中で、二人以上死んで行く恐しい病である。

三、一家の中に二人も三人も發生することがある。

◎疫痢の病状

一、今迄元氣であつた幼児が、ガツタリしてゴロ／＼したり、サト／＼して欠伸ばかりしてゐる。

二、急に熱が出て高い時は四十度にも達する。

三、始めは軟い便をもらし、次で水のやうな便となり。それから粘液を交へるやうになる。

四、こんな病状が衰はれたら、先づ「疫痢」と考へてよろしのである。

◎豫防の心得

一、幼児の便通に氣をつけ、便秘してゐないか又下痢してゐないかに注意すること。

二、消化の悪いものや、腐りかゝつたものを與へぬやう、又食べ過ぎぬやうに注意すること。

三、買喰は止めさせたい、食物は成るべく親が買つて與へること。

四、氷水や蜜柑水などは飲ませぬやうにすること。

五、寝冷しないやうに腹巻をさせること、晝間でも裸體にしたら矢張腹を冷やさぬやうにしておくこと。

六、食事前又は間食を與へる前には必ず手を洗はせること

◎若しも幼児が發熱したら

一、醫師を迎へて診察を受ける手配を爲すと同時に、一方には直ぐに床に臥させ、頭と左の胸を冷やし、「ヒマシ

油を(茶匙に二、三枚)砂糖水に浮かせて飲ませること。

せませす。三歳兒には茶匙三杯、四歳兒には四杯、五歳兒には五杯(一匙は五瓦)の分量。間違つても多量の方は差支えありません。油を入れる器は細長いコップより平茶碗の方が飲ませよい。いやがる子供には強制執行で、抱き起して鼻をつまむと口で息をしますからその折にのませませす。そして灌腸して腸内大掃除を致します。ひきつけを起しましたならば舌を噛まないよう詰め物をします。鉛筆でも箸でも綿をまいて齒の間にはさめます。お醫者には往診を願ふこと、抱いて歩きまわつてゐる間に手のつけようもなく、だめになつた話がよくあります。

近年疫痢患者數の増すに係らず、死亡率の低下した事は醫者の來る迄の家庭の手當、處置が進んで來たのによります。それで家庭ではいつもヒマシ油・氷嚢・檢温器・灌腸器などは用意しておくべきです。